

# 自主事業

## I 地域交流活動の推進

### 本館

#### 1 エドはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、あるいは首都大学東京・JR東日本ジパング倶楽部といった外部機関との連携講座などを中心に合計179講座を開催した。

期 間 平成19年4月7日（土）～平成20年3月27日（木）  
 会 場 江戸東京博物館（ホール、会議室、学習室1・2）等  
 受講料 700円～6,000円（友の会、ボランティア 500円～4,800円）  
 受講者数 13,538人  
 講座数 177講座（うちJR東日本ジパング倶楽部連携講座32講座、首都大学東京連携講座7講座）

春期カルチャー 計 60 講座（うち首都大学連携講座 6 講座＋ジパング倶楽部連携講座 16 講座）

		講座名	開催日	講師	参加人員
メイン講座	水の都江戸東京	①水の都 江戸東京（午前クラス）	5月11日（金）	小澤 弘（教授）	104
		①水の都 江戸東京（午後クラス）			118
		②両国橋物語（午前クラス）	5月18日（金）	市川 寛明（学芸員）	91
		②両国橋物語（午後クラス）			115
		③本所深川の開発（午前クラス）	5月25日（金）	高山 慶子（講師）	99
		③本所深川の開発（午後クラス）			95
		④八丁堀の旦那と橋と舟（午前クラス）	6月8日（金）	田原 昇（講師）	96
		④八丁堀の旦那と橋と舟（午前クラス）			119
		⑤近代建築と水辺（午前クラス）	6月15日（金）	米山 勇（助教授）	89
		⑤近代建築と水辺（午後クラス）			96
		⑥江戸の河川と庶民文化 —水辺に集う人々—	6月22日（金）	石山 秀和（講師）	91
		⑥江戸の河川と庶民文化 —水辺に集う人々—			98
実演講座		相撲を話してみよう —相撲甚句を唄ってみよう—	5月19日（土）	三遊亭 円橘（落語家）他	73
		隅田川と新内節 浜町河岸編・明治一代女	6月10日（日）	富士松 松栄太夫 （新内研究家・日本ペンクラブ会員）他	95

		講座名	開催日	講師	参加人員
展覧会関連講座	ロシア皇帝の至宝展	ロシア工芸文化と日本工芸文化	4月7日(土)	宮田 亮平 (東京藝術大学学長)	79
		モスクワ・クレムリンを歩く	4月20日(金)	南川 三治郎 (写真家)	74
		クレムリン、神と人が出会うところ	5月12日(土)	鐸木 道剛 (岡山大学准教授)	68
古文書講座		江戸の古文書を読む(入門)①	5月9日(水)	高山 慶子(講師)	36
		江戸の古文書を読む(入門)②	5月16日(水)		33
		江戸の古文書を読む(入門)③	5月23日(水)		32
		江戸っ子の姿を古文書で読み解く(応用)①	5月30日(水)	田原 昇(講師)	35
		江戸っ子の姿を古文書で読み解く(応用)②	6月13日(水)		35
		江戸っ子の姿を古文書で読み解く(応用)③	6月27日(水)		33
講座		講座・江戸の遊び心 I ①遊び心ーバサラ・ダテ・カブキ・スキ	4月26日(木)	小澤 弘(教授)	117
		講座・江戸の遊び心 I ②君子の四藝ー琴棋書画	5月24日(木)		108
		講座・江戸の遊び心 I ③四季の遊びー雪月花	6月28日(木)		106
		えどはくの浮世絵をたのしむ I ①鈴木春信の吾妻錦絵	4月19日(木)	小山 周子(学芸員)	59
		えどはくの浮世絵をたのしむ I ②相撲絵	5月17日(木)		53
		江戸のあゆみ I ①総城下町の誕生(午前クラス)	5月10日(木)	市川 寛明(学芸員)	84
		江戸のあゆみ I ①総城下町の誕生(午後クラス)			104
		江戸のあゆみ I ②明暦の大火と都市計画(午前クラス)	6月14日(木)		94
		江戸のあゆみ I ②明暦の大火と都市計画(午後クラス)			109
		江戸のあゆみ I ③市場経済の発達と都市商業(午前クラス)	7月19日(木)		78
		江戸のあゆみ I ③市場経済の発達と都市商業(午後クラス)			97
		江戸のあゆみ I ④享保改革と町政(午前クラス)	8月9日(木)		77
		江戸のあゆみ I ④享保改革と町政(午後クラス)			105
		日本建築家列伝シリーズII ①村野藤吾	4月28日(土)		米山 勇(助教授)
		日本建築家列伝シリーズII ②丹下健三	5月26日(土)	54	

首都大学オープンユニバーシティ連携講座

	講座名	開催日	講師	参加人員
首都大学 オープン ユニバー シティ 連携講座	水の都・江戸東京	5月17日(木)	小澤 弘(教授)	21
	両国橋物語	5月31日(木)	市川寛明(学芸員)	21
	本所深川の開発	6月14日(木)	高山慶子(講師)	21
	八丁堀の旦那と橋と舟	6月28日(木)	田原昇(講師)	21
	近代建築と水辺	7月12日(木)	米山勇(助教授)	21
	江戸の河川と庶民文化 ー水辺に集う人々ー	7月28日(木)	石山秀和(講師)	21

J R ジパン グ 倶 楽 部 連 携 講 座

	講座名	開催日	講師	参加人員
J R ジ パ ン グ 倶 楽 部 連 携 講 座	ロシアからみた江戸東京（午前クラス）	5月14日（月）	田中裕二（学芸員）	67
	ロシアからみた江戸東京（午後クラス）			68
	寛永の江戸－江戸名所図屏風をのぞく－（午前クラス）	5月28日（月）	小澤 弘（教授）	64
	寛永の江戸－江戸名所図屏風をのぞく－（午後クラス）			68
	寺子屋の教え（午前クラス）	6月11日（月）	市川寛明（学芸員）	64
	寺子屋の教え（午後クラス）			60
	川端龍子と絵双六（午前クラス）	6月25日（月）	岩城紀子（学芸員）	63
	川端龍子と絵双六（午後クラス）			61
	江戸の町名主（午前クラス）	7月9日（月）	高山慶子（講師）	65
	江戸の町名主（午後クラス）			64
	八丁堀の旦那と江戸の町（午前クラス）	7月23日（月）	田原 昇（講師）	62
	八丁堀の旦那と江戸の町（午後クラス）			67
	戯作にみる江戸の子ども（午前クラス）	8月6日（月）	石山秀和（講師）	56
	戯作にみる江戸の子ども（午後クラス）			56
	東京駅と建築家・辰野金吾（午前クラス）	8月20日（月）	米山 勇（助教授）	59
	東京駅と建築家・辰野金吾（午後クラス）			60

夏期カルチャー 計 24 講座

		講座名	開催日	講師	参加人員
展覧会関連講座	大鉄道博覧会展	鉄道と文学	7月20日(金)	小池 滋 (東京都立大学名誉教授)	56
		東京の鉄道	7月25日(水)	青木 栄一 (東京学芸大学名誉教授)	76
		対談：鉄道を熱く語る！	8月18日(土)	向谷 実(音楽館代表取締役) ×名取紀之(月刊『RailMagazine』編集長)	69
	後藤新平展	後藤新平と鉄道	7月26日(木)	原田 勝正 (和光大学名誉教授)	104
		帝都復興の華、 隅田川の橋のデザイン秘話	7月27日(金)	中井 祐 (東京大学大学院工学系研究科准教授)	121
		荷風の父 -後藤新平の衛生局時代の同僚として-	7月29日(日)	東 秀紀 (清泉女学院大学教授)	80
		えどはくの史料が語る 後藤新平ゆかりの人々	9月7日(金)	松井 かおる(学芸員)	64
	東北大学の至宝展	独創のすすめ —未来を拓く科学教育—	9月2日(日)	西澤 潤一 (首都大学東京学長)	76
		藤森建築と芝棟	9月9日(日)	藤森 照信(東京大学生産技術研究所教授)	96
		科学と小説と夢見る力 —東北大学機械系研究室から—	9月16日(日)	瀬名 秀明(作家・東北大学機械系特任教授)	39
		河口慧海 ヒマラヤに行く —日記とコレクションから見る『チベット旅行記の世界』—	9月23日(日)	奥山 直司(高野山大学文学部密教学科教授)	95
		脳を鍛えよう！ —脳科学者からのメッセージ—	9月30日(日)	川島 隆太(東北大学加齢医学研究所教授)	102
	講座	講座・江戸の遊び心Ⅱ ①芝居と遊里	9月6日(木)	小澤 弘(教授)	105
		講座・江戸の遊び心Ⅱ ②江戸のサロン	9月27日(木)		127
		えどはくの浮世絵を楽しむⅡ ①浮世絵と出版統制	8月30日(木)	小山 周子(学芸員)	102
えどはくの浮世絵を楽しむⅡ ②広重と江戸近郊		9月20日(木)	99		
夏休み親子講座	夏休み！はじめての浮世絵①(午前)	8月3日(金)	小澤 弘(教授)	17	
	夏休み！はじめての浮世絵②(午後)		小山 周子(学芸員)	11	
	夏休み！子ども古文書教室②(午後)	8月22日(水)	石山 秀和(講師) 田原 昇(講師)	13	
	夏休み自由研究 江戸の地震	8月24日(金)	高山 慶子(講師)	7	
	親子で楽しむ尺八体験	8月29日(水)	田嶋 謙一(尺八奏者)	26	

	講座名	開催日	講師	参加人員
教員向け 講座	津軽三味線の魅力	8月17日(金)	白田 路明 (三味線奏者)	11
実演講座	夏の両国を話してみよう —江戸の音曲 都々逸 (どどいつ) を唄 ってみよう—	7月15日(日)	三遊亭 円橘 (落語家) 他	38
	隅田川と新内節 続・浜町河岸編	8月25日(土)	富士松 松栄太夫 (新内研究家・ 日本ペンクラブ会員) 他	58

秋期カルチャー 計58講座（うち首都大学連携講座1講座+ジパング倶楽部連携講座16講座）

		講座名	開催日	講師	参加人員
展覧会 関連講座	文豪・夏目漱石展	①展覧会のみどころ1 —漱石と江戸東京—	10月21日（日）	橋本 由起子（学芸員）	41
		②われは我が愆を知る。 我が罪は常に我が前にあり —漱石・聖書・『三四郎』—	10月27日（土）	仁平 道明 （東北大学教授）	40
		③漱石はホントに英語がよく読めたの？	10月28日（日）	富山 太佳夫 （青山学院大学教授）	65
		④展覧会のみどころ2 —書簡にみる漱石の日常—	11月10日（土）	金子 未佳（学芸員）	32
		漱石文学散歩 『彼岸過迄』を歩く① （江戸東京博物館にて講義）	10月12日（金）	行吉 正一（学芸員）	18
		漱石文学散歩 『彼岸過迄』を歩く② （文学散歩）	10月19日（金）	田中 美穂（学芸員）	17
	北斎展	多彩な北斎の芸術世界	12月8日（土）	神谷 浩 （名古屋市美術館 学芸課長）	216
	江戸千家展	川上 不白と 川上 不白の茶	11月18日（日）	川上 紹雪 （江戸千家宗家 蓮華庵副家元） 岩崎 竹彦 （熊本大学准教授）	339
	講座	江戸の遊び心Ⅲ ①江戸のガーデニング	10月25日（木）	小澤 弘（教授）	123
		江戸の遊び心Ⅲ ②江戸の祭り	11月29日（木）		118
江戸の遊び心Ⅲ ③見立ての心		12月20日（木）	112		
えどはくの浮世絵を楽しむⅢ ①「江戸名所百人美女」にみる装い		11月15日（木）	小山 周子（学芸員）	97	
えどはくの浮世絵を楽しむⅢ ②忠臣蔵と浮世絵		12月6日（木）		82	
日本建築家列伝シリーズⅢ ①ジョサイア・コンドル		12月2日（日）	米山 勇（助教授）	101	
日本建築家列伝シリーズⅢ ②フランク・ロイド・ライト		12月16日（日）		97	

	講座名	開催日	講師	参加人員
講 座	江戸のあゆみⅡ ①大江戸の成立（午前）	12月13日（木）	市川 寛明（学芸員）	138
	江戸のあゆみⅡ ①大江戸の成立（午後）	12月13日（木）		135
	江戸のあゆみⅡ ②寛政改革と都市問題（午前）	1月17日（木）		96
	江戸のあゆみⅡ ②寛政改革と都市問題（午後）	1月17日（木）		114
	江戸のあゆみⅡ ③天保改革と庶民生活（午前）	2月21日（木）		100
	江戸のあゆみⅡ ③天保改革と庶民生活（午後）	2月21日（木）		109
	江戸のあゆみⅡ ④幕末維新期の江戸（午前）	3月20日（木）		85
	江戸のあゆみⅡ ④幕末維新期の江戸（午後）	3月20日（木）		94
	古 文 書 講 座	品川宿の古文書を読む（入門）①		12月5日（水）
品川宿の古文書を読む（入門）②		12月12日（水）	30	
品川宿の古文書を読む（入門）③		12月19日（水）	29	
館蔵の慶応四年・明治元年の文書を読む （初中級）①		11月14日（水）	近松 鴻二 （専門調査員）	34
館蔵の慶応四年・明治元年の文書を読む （初中級）②		11月21日（水）		33
館蔵の慶応四年・明治元年の文書を読む （初中級）③		11月28日（水）		28
実 演 講 座	隅田川と新内節 宗吾恩愛行路	12月1日（土）	富士松 松栄太夫 （新内研究家・日本ペン クラブ会員）他	24
た て も の 園 セ ミ ナ ー	木造モダンの世界～近代建築 30 選～	11月25日（日）	米山 勇（助教授）	127
	現代建築と木	11月25日（日）	中村 好文 （建築家・日本大学教授）	155
	名建築への招待	11月25日（日）	西 和夫 （神奈川大学教授）	124



		講座名	開催日	講師	参加人員
特集展示 太田道灌とその時代 「関連講座」	フォーラム	道灌江戸築城 550 年記念 シリーズ「戦国時代の関東を考える」 フォーラム「戦国社会のイメージ」	10月20(土)	藤木 久志 (立教大学名誉教授) 小野 正敏 (人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 教授)	113
	戦国時代の関東を考える 「連続講座」	①関東の足利氏	10月26(金)	佐藤 博信 (千葉大学教授)	143
		②万里集九と梅花無尽蔵	11月16(金)	落合 則子 (学芸員)	127
		③北条早雲の時代	11月30(金)	家永 遵嗣 (学習院大学教授)	146
		④北条領の村と町	12月9(日)	則竹 雄一 (獨協中学校・高等学校教諭)	121
		⑤上杉氏の時代	1月18(金)	黒田 基樹 (駒澤大学講師)	130
		⑥戦国大名北条氏康	2月1日(金)	山口 博 (小田原市教育委員会)	126
		⑦北条氏政・氏直と徳川家康	2月17日(日)	齋藤 慎一 (学芸員)	127

首都大学オープンユニバーシティ連携講座

		講座名	開催日	講師	参加人員
連携講座	首都大学	江戸の文化と伝統工芸 江戸東京のものづくり	11月5日(月)	小澤 弘(教授)	25

J R ジパン グ 倶 楽 部 連 携 講 座

	講座名	開催日	講師	参加人員
J R ジ パ ン グ 倶 楽 部 連 携 講 座	「漱石展」の見どころ (午前クラス)	11月13日(火)	金子美佳 (学芸員)	52
	「漱石展」の見どころ (午後クラス)			48
	漱石と東京 (午前クラス)	11月27日(火)	行吉正一 (学芸員)	52
	漱石と東京 (午後クラス)			47
	江戸の町火消し (午前クラス)	12月11日(火)	高山慶子 (講師)	51
	江戸の町火消し (午後クラス)			51
	北斎の魅力 (午前クラス)	12月25日(火)	小澤 弘 (教授)	52
	北斎の魅力 (午後クラス)			50
	特別展「北斎」の見どころ (午前クラス)	1月15日(火)	我妻直美 (学芸員)	45
	特別展「北斎」の見どころ (午後クラス)			47
	外国人の見た幕末の江戸 (午前クラス)	1月29日(火)	市川寛明 (学芸員)	44
	外国人の見た幕末の江戸 (午後クラス)			45
	天璋院時代の“大奥”よもやま話 (午前クラス)	2月12日(火)	田原 昇 (講師)	50
	天璋院時代の“大奥”よもやま話 (午後クラス)			40
	「天璋院展」の見どころ (午前クラス)	2月26日(月)	岡本純子 (学芸員)	45
	「天璋院展」の見どころ (午後クラス)			44

新春期カルチャー 計 35 講座

		講座名	開催日	講師	参加人員
メイン講座	隅田川流域の歴史と文化	①隅田川今昔（午前）	1月11日（金）	小澤 弘（教授）	82
		①隅田川今昔（午後）			120
		②深川獵師町の歴史（午前）	1月25日（金）	高山慶子（講師）	75
		②深川獵師町の歴史（午後）			110
		③幕府のお役所と隅田川風景（午前）	2月22日（金）	田原 昇（講師）	78
		③幕府のお役所と隅田川風景（午後）			107
		④親孝行の時代－浅草寺所蔵「玉露童女追悼集」を素材に－（午前）	2月29日（金）	市川寛明（学芸員）	62
		④親孝行の時代－浅草寺所蔵「玉露童女追悼集」を素材に－（午後）	2月29日（金）		105
		⑤浅草界隈の江戸文人－書家を中心に－（午前）	3月14日（金）	石山秀和（講師）	57
		⑤浅草界隈の江戸文人－書家を中心に－（午後）	3月14日（金）		102
		⑥文学にみる隅田川（午前）	3月21日（金）	行吉正一（学芸員）	70
		⑥文学にみる隅田川（午後）			101
古文書講座	初級	①大伝馬町の古文書を読む	3月5日（水）	高山慶子（講師）	31
		②大伝馬町の古文書を読む	3月12日（水）		30
		③大伝馬町の古文書を読む	3月19日（水）		29
	中上級	①四谷塩町一丁目文書を読む	1月16日（水）	近松鴻二（専門調査員）	29
		②四谷塩町一丁目文書を読む	1月30日（水）		32
		③四谷塩町一丁目文書を読む	2月13日（水）		31
実演講座	江戸時代のからくり人形 ①江戸からくりの曙	1月31日（木）	半屋春光 （からくり人形師）	28	
	江戸時代のからくり人形 ②からくり解体新書	2月8日（木）		28	
	江戸時代のからくり人形 ③近代化への身支度	2月15日（木）		28	
	隅田川と新内節 明烏道行編	3月22日（土）	富士松栄太夫 （新内節研究家・日本ペンクラブ会員）他	39	

		講座名	開催日	講師	参加人員
講座	近代文学	近代文学講座 詩の東京 萩原朔太郎	1月24日(木)	行吉正一(学芸員)	29
	長崎VS江戸「講座」	① NIPPONを描く “川原慶賀 VS 葛飾北斎”	2月3日(日)	海江田義広(長崎県文化振興課主任学芸員) +小澤弘(教授)	59
		② 阿蘭陀発長崎経由江戸 “出島和蘭商館 VS 日本橋長崎屋”	2月10日(日)	本馬貞夫(長崎県文化振興課参事)+竹内誠(館長)	118
企画展 関連講座	北斎漫画展	フランスに渡った北斎	1月27日(日)	クリストフ・マルケ (フランス国立東洋言語文化研究学院教授)	112
	川瀬巴水展	巴水版画の魅力と製作工程	2月27日(水)	渡邊章一郎 (渡邊木版美術画舗代表取締役)	74
特別展 関連講座	天璋院篤姫展	天璋院様とその時代	3月1日(土)	徳川恒孝 (徳川宗家18代当主)	310
		激動の時代を生きる 天璋院篤姫	3月15日(土)	竹内誠(館長)、 大石学(東京学芸大学教授)、 佐野元彦(NHKドラマチーフプロデューサー)	308

		講座名	開催日	講師	参加 人員
連続講座	江戸のあそび心 IV	①旅の心 一名所見物ー	3月13日(木)	小澤 弘(教授)	119
		②隠居の遊び心	3月27日(木)		111
	えどはくの浮世絵を 楽しむ IV	①浮世絵にみる「源氏物語」の世界	2月7日(木)	小山周子(学芸員)	90
		②浮世絵と近代版画 ー川瀬巴水を中心にー	3月6日(木)		83
	日本建築家列伝 シリーズ IV	日本建築家列伝シリーズIV ①菊竹清訓	2月2日(土)	米山 勇(助教授)	55
		日本建築家列伝シリーズIV ②黒川紀章	3月2日(日)	米山 勇(助教授)	57

## 2 江戸文化歴史検定

江戸の文化と歴史をひろく普及するため、(株)小学館、(株)小学館プロダクションとの共同で江戸文化歴史検定を実施した。

### (1) プレス発表・スペシャルトークショー

日 時 平成19年6月28日(木)  
会 場 江戸東京博物館 学習室2  
参加プレス 48社(59人)  
出 演 映画監督・篠田正浩 江戸東京博物館長・竹内誠  
会 場 江戸東京博物館1階大ホール  
参加人数 276人

### (2) 近畿日本ツーリスト提携講座

日 時 平成19年8月11日・12日・14日  
会 場 江戸東京博物館 会議室  
参加人数 3日間合計 243人

### (3) 第2回 江戸文化歴史検定

日 時 平成19年11月4日(祝・月)  
場 所 明治大学駿河台校舎・上智大学四谷キャンパス・法政大学市ヶ谷キャンパス  
受 験 料 3級 4,200円 2級 5,250円 1級 6,300円  
受 験 者 数 9,509人(合格者3,064人)  
3級 3,651人(合格者2,335人、合格率69.3%)  
2級 4,853人(合格者727人、合格率15.9%)  
1級 1,005人(合格者2人、合格率0.2%)

### (4) 今年のお題発表会&名作映画上映会

日 時 平成20年3月18日(火) 18:45~21:00  
場 所 神保町シアター  
参加人数 67人

## 3 伝統的工芸品支援事業「第3回 東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞」

職人同士やデザイナーなどが連携し、伝統的なものづくりに、新しいデザインや機能を取り入れて開発した新製品を募集し、応募製品を江戸東京博物館で展示するとともに、応募作品のなかから大賞(都知事賞)1名、優秀賞5名、奨励賞10名を選定し、販売促進を支援する事業。

主催：東京都中小企業振興公社・財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

展示会場：東京都江戸東京博物館 会議室

展示期間：平成19年11月2日~7日、11月5日(月)審査会・11月8日(木)表彰式

来場者数：2,571人

#### 4 第21回歌舞伎フォーラム公演

歌舞伎と落語の関連性に着目し、両者の「コラボレーション」をテーマとした公演と落語会を実施した。

##### (1) 歌舞伎と落語

期 日 平成20年3月27日(木)  
会 場 江戸東京博物館 1階ホール  
主 催 朝日新聞社、財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
内 容 出 演 : 歌舞伎役者 中村福助、落語家 柳家喬太郎ほか1名  
長唄・囃子連中  
構 成 : 第1部 「舞う」～舞踏「両国八景」  
中村福助  
第2部 「語る」～お楽しみトークショー「歌舞伎と落語」  
中村福助&柳家喬太郎  
第3部 「噺す」～「落語」  
柳家喬太郎ほか1名  
入 場 料 4,500円  
参加者数 398人

##### (2) えどはく落語会

期 日 平成20年3月29日(土)、30日(日)  
会 場 江戸東京博物館 1階ホール  
主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
内 容 出 演 : 3月29日(土) 三遊亭金翔、柳月三郎(民謡)、林家木久扇、  
三遊亭金時、林家正楽(紙切)、柳家権太楼  
3月30日(日) 三遊亭時松、三遊亭小円歌(三味線)  
三遊亭金時、林家いつ平、ロケット団(漫才)  
春風亭小朝  
入 場 料 各日4,000円  
参加者数 平成20年3月29日(土) 182人  
30日(日) 366人

## II 江戸東京の歴史に関する資料の展示等

「3 T戦略」(Target: 対象入館者, Timeliness: 時宜, Top of sales point: 目玉資料)のもとで、バラエティー豊かなラインナップの特別展を5本開催し、江戸博の独自性を出すことで展示内容の来館者満足度を高めた。運営面では、オンラインチケットの販売拡充や協力金方式の協力金収入率を上げるなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。平成19年度の特別展入館者数は、延べ256日間の会期に計65万124人の観覧者を迎えることができた。

### 1 第1回特別展 「ロシア皇帝の至宝展～クレムリンの奇跡～」

期 間	平成19年4月1日(日)～平成19年6月17日(日) 延べ70日間
会 場	江戸東京博物館 企画展示室
主 催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、TBS、毎日新聞社 ロシア皇帝の至宝展実行委員会、モスクワ・クレムリン博物館
後 援	ロシア大使館、外務省、TBSラジオ
協 力	JR東日本、凸版印刷、日本航空、日本通運
内 容	12世紀から20世紀初頭までのロシア帝国の栄華を今に伝える10万点の至宝のなかから選りすぐった230点を日本初公開。近年モスクワで発掘された古代ロシアの装飾品をはじめ、ロシア皇帝ゆかりの工芸品、宝石を多用した宝飾品やアイコン、戴冠式の衣装、精緻な細工と仕掛けのイースター・エッグのほか、ヨーロッパやオリエントの国々から献上された当時最高のマイスターたちの逸品などを展示し、クレムリン博物館とロシア工芸の全貌を日本で初めて紹介。あわせて12世紀古代ロシアから最後の皇帝ニコライ2世までのロシアの壮大な歴史も伝えた。
観 覧 料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円
入場者数	166,858人 (1日平均 2,384人)

### 2 第2回特別展 「大鉄道博覧会一昭和への旅は列車に乗って」

期 間	平成19年7月10日(火)～9月9日(日) 延べ55日間
会 場	江戸東京博物館 企画展示室
主 催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
後 援	JR北海道、JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、JR貨物
企画協力	交通科学博物館、鉄道博物館【(財)東日本鉄道文化財団】、碓氷峠鉄道文化むら、物流博物館
展示協力	星晃、(財)日本修学旅行協会、鉄道友の会、ネコ・パブリッシング、天賞堂
協 力	キャノンマーケティングジャパン、富士フィルムイメージング、東京商工会議所、(社)日本交通協会 (財)交通道德協会 交通新聞社、鉄道ピクトリアル、月刊鉄道ファン、鉄道ジャーナル、プレス・アイゼンバーン、レイルマガジン、交通ペンクラブ、鉄道模型振興会、バンダイ
内 容	明治以来の日本の鉄道の歩みを振り返りながら、鉄道の黄金期といわれる昭和30年代に焦点をあて、鉄道の魅力を伝えた企画。蒸気機関車の実物や特急電車



の展望デッキのレプリカといった大型資料のほか、ヘッドマーク、赤帽のユニフォーム、車両模型300台なども展示。あわせて映像なども利用して、集団就職の様子など当時の人々の生活も紹介した。

観覧料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円

関連事業

(1) 鉄道映画祭

日時 平成19年8月1日(水) 10:30~16:30  
2日(木) 10:00~17:30

場所 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 133人

(2) ミニSL体験

日時 平成19年8月8日(水)・9日(木)

場所 東京都江戸東京博物館 江戸東京ひろば

参加者 1,200人

(3) 鉄子の旅びっくり上映会

日時 平成19年8月10日(金) 10:00~、11:30~、13:00~、  
14:30~、16:00~

場所 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 738人

(4) SUPER BELL 'Z with 豊岡真澄

日時 平成19年8月11日(土) 15:00~、18:00~

場所 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 722人

(5) Bトレインショーティー組み立て教室

日時 8月29日(水)~31日(金) 各11:00~、13:00~、14:00~、  
15:00~

参加者 272人

入場者数 170,158人 (1日平均3,094人)

3 第3回特別展 「文豪夏目漱石—そのころとまなざし—」

期間 平成19年9月26日(水)~11月18日(日) 延べ48日間

会場 江戸東京博物館 企画展示室

主催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、東北大学、朝日新聞社

内容 漱石の生い立ちから文学者としての歩みを、東京にはじめて里帰りする東北大学「漱石文庫」の漱石の旧蔵品をはじめ、自筆の書・絵画、後世に名を残した美術家たちによる初版本のデザイン稿、さらに漱石が暮らした当時の東京の様子を伝える地図、版画、写真など、800点あまりの資料でたどる、かつてない規模の展覧会。あわせて、漱石の魅力と文学作品の中にあらわれた明治の諸相も紹介した。

観覧料 一般1,100円 大学・専門学校生880円 小中高生・65歳以上550円

関連事業

(1) コンサート「文明開化のクラシック」

日時 平成19年10月6日(土) 11:30~13:00

出演者 すみだ弦楽四重奏団

場 所 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 170人

(2) 講演会「漱石の言葉」

日 時 平成19年10月6日(土) 15:00~16:30

講 師 夏目房之介(マンガコラムニスト)

場 所 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 363人

(3) 講演会「祖父漱石のこと」

日 時 平成19年10月13日(土) 14:00~15:30

講 師 半藤末利子(エッセイスト)

聞き手:宮本隆治(フリーアナウンサー)

場 所 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 375人

入場者数 89,436人 (1日平均1,863人)

4 第4回特別展「北斎—ヨーロッパを魅了した江戸の絵師—」

期 間 平成19年12月4日(火)~平成20年1月27日(日) 延べ47日間

会 場 江戸東京博物館 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、東京新聞

後 援 オランダ王国大使館、フランス大使館

協 賛 大日本印刷

学術協力 オランダ国立民族学博物館、フランス国立図書館

協 力 日本航空

内 容 最近の研究で、文政年間(1818~49)長崎のオランダ商館長は4年ごとの江戸参府のたびに、北斎に人々の暮らしぶりを描いた作品を依頼していたことが判明。この展覧会では、現在オランダとフランスに分蔵されるそれらの絵画群40点を初めてで同時に里帰りさせた。とくにオランダからは、他の北斎コレクションも里帰り。国内に残る北斎の名品もあわせて展示し、これまでにない視点で北斎芸術を紹介した。

観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円

入場者数 95,586人 (1日平均2,034人)

5 第5回特別展 「天璋院篤姫」

期 間 平成20年2月19日(火)~3月30日(土) 36日間

(平成20年4月1日(火)~4月6日(日) 6日間 延べ42日間)

会 場 江戸東京博物館 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション

協 賛 ハウス食品、日本写真印刷株式会社

特別協力 財団法人徳川記念財団 尚古集成館

内 容 篤姫は、薩摩藩主島津家の一門に生まれ、21歳で徳川13代将軍家定に嫁ぎ、江戸城無血開城に大きな役割を果たした女性。この展覧会は2008年NHK

大河ドラマ「篤姫」と連動するもので、篤姫と彼女を取り巻く人々ゆかりの品々や、江戸城大奥の調度、幕末の騒乱を伝える歴史史料など約200件を公開。

観覧料 一般1,200円 大学・専門学校生960円 高校生・65歳以上600円  
入場者数 128,086人 (1日平均3,557人) 平成19年度分のみ